

## 2 平成26年度 緑園西小学校「豊かな心の育成」推進プラン

### 中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

「道徳の時間」と学校の様々な教育活動との関連を図り、自他のよさを認め合う心情や態度を育てています。

### 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

保護者の教育に対する意識が高く、保護者の教育ボランティアや地域の学校教育に対する支援体制が整っている。子どもたちは自己肯定感が高く、人とかかわることも好きである。「物事に一生懸命取り組むこと」と「人の気持ちを考えて行動すること」に課題がある学年がある。

### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・「道徳の時間」と学校の様々な教育活動との関連を図って道徳教育を充実させ、道徳的実践力を育てる。
- ・異年齢集団活動でのねらいを明確にし、計画的に活動することで、主体性、思いやりの心を育てる。

### 指針1 「道徳の時間」の充実

○道徳教育の要となる道徳の時間の指導を充実させる。子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を広げ、自己を見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身に付けられるようにする。【視点1】

- ・道徳推進教師を中心に互いの「道徳の時間」の授業を見合い、道徳の時間への意識の向上や指導力向上を図る。
- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を意識して指導を行う。
- ・全学級の「道徳の時間」の授業を家庭・地域に公開し、公開後の学級懇談会やアンケート等を「道徳の時間」の指導に生かす。

### 指針2 体験活動の充実

○縦割り活動など異年齢活動を充実させる。6年生がリーダーとなって縦割り活動を行い、高学年のリーダーとしての意識、グループ内で思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てる。【視点2】

- ・年間計画を作成し、各学年が年間の見通しをもって活動する。
- ・各活動のねらいを明確にし、職員間で育てたい資質・能力について共通理解を図る。
- ・活動の中で自分の役割やルールを理解し、仲間のよさを生かしながら相手のことを考えて活動に取り組めるように支援する。